

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	788	治山林道維持経費	会計	01	一般会計
基本施策	42	持続的で個性的な農林業を実践する。	款	06	農林業費
担当部課名	産業振興部 農林政策課		項	02	林業費
作成者氏名	光岡 菊郎	連絡先	目	02	林業振興費
		22-9666	細目	105	治山林道維持経費
			細々目	01	治山林道維持経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	三重県森林協会 林道安全協会	成果(どうなるのか)	協会加盟により、林道交通安全管理事業、安全指導啓発事業を実施するとともに、森林セミナーや各種治山工事等のコンクールに参加します。治山、林道事業に関係する、技術の向上、研修会等の受講により、環境に配慮した事業実施を行います。
	本年度事業内容	三重県森林協会負担金 林道安全協会負担金		
開始年度	平成	年度	終了年度	平成
				年度
				根拠法令・要綱等
				団体の規約

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.05	0.05	0.05
	人件費合計(A)	360	360	360
②支出内訳(千円)	事業費(B)	890	1,430	1,430
	負担金、補助	890	1,430	1,430
	その他			
	合計(A+B)	1,250	1,790	1,790
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
一般財源	1,250	1,790	1,790	
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
加入・支援団体数	団体	2	3	3			
研修会参加回数	回	1	2	2			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
負担金の額	負担金の増減が当市における国・県補助事業量の指標となります。	千円	890 目標 ( 890 )	1,430	1,430
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

合併時点では、各支所単位に工事を行い、本庁は協会負担金のみでした。平成18年度以降は工事を含む事業すべてが本庁扱いの予定です。
---

評価	必要性	4	前年度国、県補助金が賦課徴収の算定基礎となっています。また、市長が役員に就任し、協会活動の率先役となっています。 団体の研修会に参加して、技術の習得を行います。	総合評価 <b>A</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		